

○. 大正区郷土史より

《No.1を訪ねて！！著名な事件や著名な人物！》

松田邦雄

- . 豊臣の軍船駐留船所、船倉。木津川を渡る船数は当時、日本一であった。  
(安治川2221、木津川336、尻無川630長)
- . 小林運河、材木、木材・製材・合板関係の会社数、700社。日本一の木場(小林銀座と言われた)  
当時、材木生産、日本一。
- . 日本最古の木津川飛行場10万坪。日本最初のスチュワーデス(エアガール)誕生。着物姿であった。
- . 近代紡績発祥の地。大阪紡績(民間最大)。和泉木綿、河内木綿の生産高。東洋一。輸出量48%。  
15000錠の紡績機。
- . 榎(ハヅ)並木の景観。榎(ハヅ)元町歩、美しく宴席が設けられ、当時、尻無川の名物であったシジミを着に  
遊興した。榎(ハヅ)よりローソクのロウが取れる。(※. 米沢藩の上杉鷹山が国策として榎(ハヅ)を植えた)
- . 八百八橋、八十近い橋の多さ。
- . 大阪紡績ではランプよりイギリスから輸入した電燈を最初に取り入れ、夜勤のできる体勢を作った。
- . 安治川。日本最初のボート・レースを行う。
- . 土地の債権化。北村銀行倒産の時の借金を、一族所有の土地を債権化することで返済し、泉尾土地会社  
を設立し、土地の高騰で借金が無くなった。(バブル経済の淵源)
- . 寺社の多さ。寺町筋と競うほど。神社12社、寺院19寺、布教所26ヶ所。
- . 西日本最初。三泉協同公設市場、1170業者が入札を競う。
- . 大正橋。大正4年竣工。長さ90m幅22m。京大の増田工学士が設計。  
知事派と市長派の争いや増田博士の芸者との心中事件(大正橋心中)が新聞にぎわす。  
橋脚の無いブリッジ型(欄干のデザイン・ペーパンの第9の譜面)当時最大。  
大正橋。跳ね上げ端。日本最大。昭和10年、1日、2000隻の船が行き交う。
- . 井路の多さ。潮来、近江八幡と競う。
- . 渡船場、最大時10箇所。現在7箇所。
- . 木津川口刑場(今木町の刑場)より、蘭法医らによる刑死人の解剖で人体研究をする。  
緒方洪庵の適塾の書生が解剖社を結成し、この刑場で人体研究をしていた。
- . 船泊、船具商が300軒。
- . エントツ、スト男、日本で初めて世間を騒がす。
- . 大阪紡績が火災。女工96人焼死。  
社長の一人息子事故死。(8歳、黄八丈を着て工場内で遊び、長袖が機械に巻き込まれた)葬儀は三軒家  
始まって以来のもの。先頭が岩崎の火葬場に着いた時、しんがりはまだ、自宅の葬儀場前であった。
- . 原子力の父。仁科京大工学部教授の研究所が難波島にあった。広島の被爆調査に一番乗り。
- . 文化人の寄宿。吉川英治、国木田独步、高山樗牛。
- . 浪華百景の中に、木津川、尻無川、安治川周辺に20景以上ある。
- . 幕府より、難波島の娼婦廃止令が出る。(1657年)
- . ペリー来航の翌年、ロシアのオロシヤ号、イギリス船が来航。
- . 元禄時代、ハゼ釣りの名所として、釣り船が並んだ。風流舟遊び、水遊び、榎遊びと称された。
- . 甚兵衛茶屋。シジミ汁で有名。満潮時、魚釣り。干潮時、潮干狩り。
- . 狐、いたち、狸等々が堤に穴を掘って住み着き、水害を大きくした。
- . 大阪ドイツ浮虜収容所、平尾に760名収容
- . 長州の桂小五郎、尻無川番屋で捕獲
- . 大正映画ロケ、マップ やんちゃくれ、ブラックレイン

# 歴史古典

田辺福磨呂

妹が名は千代に流れむ姫島の、子松がうれに苔のむすまで 卷2  
 有通う難波の宮は海近み 天津乙女が乗れる船見ゆ 卷6  
 潮干れば葦辺に騒ぐ葦鶴の 妻呼ぶ声は宮も轟に 卷6  
 難波津に咲くや此の花冬籠り 今は春辺と咲くや此の花 卷7

古事記	430年	仁徳天皇が姫島、大隅島を行幸
信長水軍	1576年	木津川沖で毛利水軍を撃破する
中村勘助	1610年	姫島に豊臣の軍船係船所建設、勘助島と名乗る
三軒家遊離の里	1657年	幕府より娼婦禁止令で新町に纏める
河村瑞賢	1699年	難波島を開削工事木津川の水流通改良
北村六衛門	1702年	泉尾新田検地
炭屋三郎兵衛	1763年	炭屋新田開発
朝鮮通信史	1764年	尻無川を上る
岡島嘉平次	1768年	千島新田開発
平尾与左衛門	1771年	平尾新田開発
岡島嘉平次	1829年	南恩加島新田開発
〃 〃	1831年	北恩加島新田開発
〃 〃	1832年	小林・岡田・千歳新田開発
木津の千本松	1833年	870間の石堤に千本松を植る
ロシア軍艦来航	1855年	ディアナ号 来阪
船囲場	1881年	三軒家に倉庫十棟と船囲場開設
大阪紡績	1883年	近代紡績三軒家で開業
藤永田造船	1885年	千島で開業・栗本鉄鋼開業
銀行破産	1903年	北村銀行破産～泉尾土地に変わる
埋め立て	1905年	～鶴町・福町・船町を埋め立て
北の大火	1909年	罹災者2万2千人 南恩加島施設に収容

芦分船	1673年	姫島・難波島・三軒家
桂小五郎	1860年	尻無川で捕まる(明治のの木戸考充)
北野大火	1909年	22000人が南恩加島の施設に収容
三泉市場	1911年	西日本最初の問屋市場
第一次世界大戦	1914年	ドイツ捕虜760名大阪浮虜収容所に
大正橋架橋	1915年	市電、岩崎橋から日吉間を開通、木津川運河開削
大阪木材創立	1918年	西日本有数の木材市場
大阪最初の市営住宅	1919年	鶴町住宅として託児所の設置 造船所木津川に32社、尻無川に16社群立
岩崎橋の架橋	1920年	大運橋、鶴町市電開通
鶴町公設市場開設	1921年	泉尾公設市場開設、岩松橋架橋
西区から港区へ	1925年	
大阪シボレー社	1927年	8万台清算
大阪木津川飛行場	1929年	日本初の公共用空港、8800回の発着 年間旅客1万人を運ぶ
区内初の市バス	1930年	野田阪神鶴町間
大正区成立	1932年	
室戸台風	1934年	被災者12万3000人
可動橋大船橋架設	1936年	
大浪橋架設	1937年	
大正区人口	1939年	15万2000人、大阪市は325万人
大阪大空襲	1945年	被災者55000人、大阪は120万人 第二次世界大戦終戦
ジェーン台風	1950年	被災者57000人(朝鮮動乱)
大正駅開設	1961年	環状線開設

## 大正ロマン・今昔

日本の財は、浪華に在り、浪華の財は船に在る。

出船千漕、入り船千漕。水巡りの街大正。

☆旧石器時代の大阪にいたマチカネワニ。ナウマンゾウ。

☆神武天皇が名付けた浪華、浪速、浪花、難波。

☆神功皇后時代の地図に見える姫島、日女島、一姫島縁起。

☆仁徳天皇が行幸した姫島の地。

☆古今集に君が代の元歌が！千代に流れむ苔のむすまで。

☆木津川大湊は外来文化の要港だった一遣唐船、遣隋船。

☆木津川沖の大海戦、信長と毛利の死闘。

☆起業の天才、川村端賢の大川改修。

☆浪華の義人第1号、木津勘助の誉れ。

☆室町時代—大阪小坂の地名があり。

☆豊臣の軍船の御船蔵。

☆栄えた三軒家遊里の里と禁止令。

☆木津川と尻無川に挟まれためずらしい中洲の街、大正。

☆井原西鶴が広めた尻無川風景と甚兵衛小屋と船遊び。

☆浪華百景の中に、木津川、尻無川、安治川の二十景あり。

☆北村六右衛門—泉尾新田—北村銀行—泉尾土地。

☆土地の債巻化第1号泉尾土地。

☆朝鮮通信使がもたらした三韓文化と難波島、尻無川。

☆岡島嘉平次の開拓魂、南恩加島、北恩加島、小林、千歳、岡田新田開発。

☆名勝木津の千本松、石破堤と870間も今はなく。

☆ロシア軍艦、ディアナ号来艦の大騒ぎ。

☆三間屋川に倉庫10棟と船囲場。

☆ハゼ釣り、檀（ハゼ）渡し、檀橋、檀並木、檀街、檀は大正の看板。

☆桂小五郎、尻無川に捕わる、幕末の大立物木戸孝弘。

☆安永の大地震と津波碑。

☆芦分船に姫島、難波島、三軒家が登場。

☆葦島刑場（今木刑場）、府分で医学に貢献。

☆東洋のマンチェスター、近代紡績発祥の地、三軒家紡績。

15000 鍾と生産高東洋一。輸出高東洋一を誇る。

☆イギリス人名コックが作る西洋料理関西一。

☆日本で初めて24時間の夜業整う。

☆北の大火、南恩加島で市民22000人を収容する。

☆井路を船で小船で往来して物を運ぶ。

☆三泉市場西日本最初の公設市場。1170業者が入札を競う。

☆安治川で日本最初のボートレースを行う。

☆寺町筋と言われる寺社の多さ一神社12社、寺院19寺、布教所26所。

☆大阪ドイツ捕虜収容所に760名の浮虜来る。

☆大正橋、長さ90メートル、幅19メートル、当時日本一。

音楽橋、ベートーベン歓喜の曲が記される。

☆浪華八百八橋の中で73橋が大正区に、(個人橋19)

☆小林運河大阪木材貯木量、輸出量日本一。

☆小林銀座と謳われる一木材業者700社あり。

☆荷馬車の量一日730台が動く。後には運送会社に転業。

☆大阪市最初の市営住宅、鶴町住宅と託児所。

☆岩崎橋は横西岩松氏の寄付でできた。

☆大阪製アメリカ車、GMシボレー80000台を世界へ。

久保田鉄鋼のダットサン生産。

☆日本最古の飛行場、船町飛行場10万坪。年間8800回飛ぶ、人間1万人を運ぶ。

☆世界のリンパークも木津川飛行場に来る。

☆着物姿のエアガール(現在のスチュワーデス)。

☆区内初のバス、バスガールはミリタリールック。

☆日本初のハネアゲ橋、大船橋、1日千漕が通う。

☆造船業の街、木津川に32社、尻無川に16社。

☆船舶、船具商の店300件。

☆明治期の大正、洋服の街中国人より受け継ぐ。

☆水害の街、明治19年、昭和9年室戸台風、22年ジェーン台風。

☆渡船場の街 現在7箇所。最大時は10箇所あり。

昭和18年には一日23000人が通う。

☆大正区の人口 昭和14年152000人。終戦の年24000人。

映画撮影所 天保山・鶴橋・長瀬・旭丘  
古市・瓢箪山・あやめが池・奈良・神戸・  
甲陽・芦屋・宝塚・社・

ロケマップ 難波戦記・大阪五人娘・大阪  
の宿・浪速小唄・北浜の嵐・

十三夜 山根寿子・轟夕起子・佐分利信・

三百六十五夜 田中絹代・高峰秀子・上原謙・

君の名は 岸恵子・佐田啓二・大正橋

春の川 田中絹代・折原啓子・上原謙

この世の花 水原真知子・島倉千代子・

若い川の流れ 石原裕次郎・芦川いずみ・

暖簾一代 美空ひばり・林与一

お染久松 美空ひばり・大瀬康一

小林

母の子守歌 浪花千恵子・櫻橋

浪華の恋の物語 有馬稲子・中村錦之介

大阪の女 京マチコ・船越英次

非牡丹桜 藤純子・天知茂

望郷 望月優子・淡路恵子

浪花無情 轟夕起子・天知茂

浪花博徒伝 藤純子・鶴田浩二・天知茂

盛り場仁義 香山美子・松方弘樹

日本侠客伝 花柳小菊・里見浩太郎

男はつらいよ 松阪慶子・渥美清

浪花の恋の物語り

仁義無き戦い

高倉健・緒方拳・梅宮辰夫・松方弘樹・田中邦衛

泥の河

松阪慶子・真田広之

がめつい奴 三益愛子・若山富三郎・

極道釜ヶ崎に帰る 若山富三郎・清川虹子・香山美子・山城真吾

顔 藤山直美・

南の帝王 竹内力也・

喧嘩の花道

部長刑事 芦田伸介・

やんちゃくれ 八千草薫・藤 まり子・

ブラック・レイン マイケルダグラス・高倉健・松田優作・

アーバンポリス

NHK連ドラ 壇ふみ・桑名正博・

二人芝居 三倉かな・まな・

出身スター 港・山本富士子・八千草薫・京マチ子・市川右太衛門

大正 笠置シズ子・黒木耀子・市田ひろみ・桂三枝・万田久子・山田雅夫

瀬尾和夫・ルーキ新一・林家染丸・黒木ヒカル・カウスボタン・柴田郁広

片岡幾雄・伊達三郎・瀬川哲也・真田幸雄・諸田健二郎・松下幸之助(サクラメント)

一時大正に住んだ人 桂南光・桂文珍・江守徹・大木実・今くるよ

酒井邦雄・海原はるか・桂鶴瓶・フラワーショウ・

大正を描いた小説・記録 細雪・俄・大阪シボレー・木津川の川攫え・夢の川攫え

島津が征く・木津勘助物語・水の都物語・水のある町・浪速の革命児・日本民衆史

堂々日本史・女工哀史・大阪港物語・河村瑞賢物語・海廻りの渡し舟・浪速遊侠伝

鳴門秘帖・泥の河・

# 大正区昔ばなし

語り部 松田邦雄

なわ・大正区の昔話です。浪速は和泉山脈、生駒山脈千里丘陵に囲まれた河内と海でした。

神武征西の折、河内の海を渡る時、浪が速い、波が難しい(険しい)、泡立つ浪が鮮やかなので、浪速・難波・浪華となったとの伝承が残っています。船場も千の波からだと言われています。

難波八十島、難波三景といわれ、風光明媚で有名でした。西暦四百三十年、仁徳天皇

行幸のとき日女島・姫島比売島等と呼ばれる現在の三軒家・難波島・松原が古事記に記されています。

港として発展した難波は国の要港として、外来文化の交流発信地として栄えました。いわゆるシルクロードの東の端、奈良に繋がる要衝だったと思われれます。

次号へ続く



# 大正区昔ばなし

語り部 松田邦雄

前回は万葉の時代のはなしでした。今回は江戸時代のはなしです。北の淀川、南の大和川。これらの川の河口ににじだいに土砂が堆積し「難波八十島」と呼ばれる砂洲が出現した。その中に姫島、九条島、四貫島、難波島等の今の大正区の原形があった。一番最初の開墾は三軒家のある姫島だと言います。江戸時代、初期は

武家や農民の開墾が盛んでしたが、中期に入ると町人が台頭し、「町人請負新田」が多くなる。大正区の開墾は全て町人請負である。中村勘助、北村六右衛門、岡島嘉平次、この御三家が大正区の開墾で有名です。

(次号へ続く)



# 大正区昔ばなし 語り部 松田邦雄



この写真は明治に起こった災害の 木津川河口付近です。

江戸・安政の時、前後して直下型地震とプレート型地震が2度発生した。最初の直下型の時には川舟に逃げ込んで助かった人々が、プレート型地震の時には津波のため大勢の人々が亡くなった。148年前の宝永の地震津波の教訓を生かせず、木

津川河口から大正橋にかけて同じ過ちが繰り返され多数の死亡者が出た。これを後の教訓にと大正橋東詰に安政の地震大津波の碑が建てられている。(現在は工事中につき仮移転保管中)



# 大正区昔ばなし

語り部 松田邦雄

## 大正区がスチュワード誕生の地!?

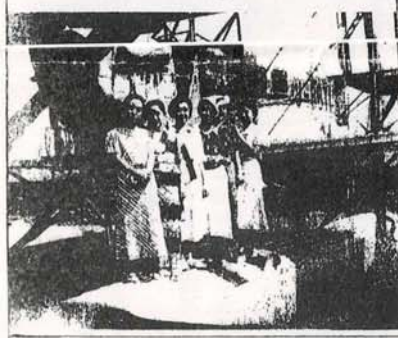


アテンション プリーズ!

今日は大正区の自慢話「その一」です。日本最古の民間飛行場

木津川飛行場10万坪(新木津川大橋の船町側の上り口に跡地の碑があります)。この飛行場に日本最初のスチュワードス(エアガール)が誕生した。

着物姿で大阪―高知―松山間を就航した。その時の航空会社は『日本航空株式会社』だった。空の天使が大正区から生まれたというお話でした。【追伸】国際飛行場一号。昭和4年4月、木津川飛行場は大正区として運輸省から公共飛行場の指定を受けた。



# 大正昔話

語り部

松田邦雄

今日は昔の英雄の話。木津(中村)勘助。飢饉で飢餓に苦しむ庶民をみて、先頭に立って、幕吏と闘った伝説の英雄。木津川下流の勘助島を拓いた。今の三軒家一帯である。江戸・明治・大正と舞台や講談で語り継がれて人気を博す。昨年には歌謡曲も生まれた。まだ大正の歴史が浅い頃、その地の偉人・英雄は、その地の出身者と言う訳ではなくその地にどの様な功績を残したかを問われる。そこには、その地の庶民の町つくりの願いや、思いや、考え方の原点があるように思える。次に、どの様なかたちで、その地出身の偉人・英雄が現れるのか。まだ、生まれていないのか。今こそ出でよ。時を越え、大正庶民の願いに応える偉人・英雄達よ。どの願いは筆者だけのものだろうか。



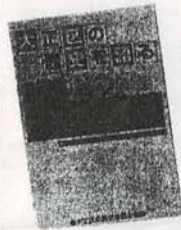
浪速区敷津松之宮(大國神社内)に木津勘助(きつかんすけ)の銅像がある。

# 大正区昔ばなし

語り部 松田邦雄

大正区に歴史ブーム到来。今回は現在の大正区の新しい旧跡や渡船場に由来のバネルが設置された。戦前・戦後の大正区の状態等の生の声を一冊の本にまとめた「大正区の歴史を語る」の発刊。今年2月23日から全3回で大正区の歴史講座が開催される。

同じくアゼリア大正では記念コンサート、ふれあいコンサートが開催される。大正歴史ブームの一助として、まだまだ「大正区昔ばなし」は続きます。



『大正区を語る』(発行所: 大正区歴史センター)